

講義名	研究演習		
講義コード	45064	授業形態	
担当教員	持田 信治		
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限		
備考			

ゼミ
経営戦略とマネジメントを学ぶ プロジェクト・マネジメント論
学部
商学部
学科
経営学科 経営戦略コース

演習名
経営戦略とマネジメントを学ぶ プロジェクト・マネジメント論

概要説明
<p>本講義は対面にて行います、しかしコロナウイルスの広がり、その他の理由により、LIVE配信となることがあります。オンデマンドやLIVE形式の場合には授業参加確認と課題の提示はRESPONにより行います。また講義がオンラインに移行した場合にも授業参加確認と課題の提示はRESPONにより行います。</p> <p>本ゼミでは研究演習に引き続き、プロジェクトの計画方法を練習します。そして研究演習では具体的な問題を科学的な手法を用いて解決する手法を学びます。具体的には回帰分析を用いて課題解決の演習を行います。また、プロジェクトでは人とお金と設備・物を駆使して目的の達成を目指すため、費用計画と工期計画の方法についても説明を行います。加えて卒業論文の作成に向けて、論理的な文章の作成練習を行い、最終的に卒業研究の成果として論文作成を行います。</p>

学位
博士(学術)

教員よりの要望
経営戦略と問題解決能力について皆さんと一緒に考えていきたいと思っていますので、経営戦略、課題解決やプロジェクトマネジメントに興味のある学生を求めます。

教員英字氏名
Shinji Mochida
研究室
3512
最終学歴

1984年3月25日 九州工業大学 工学部 情報工学科 卒業

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>(科研) (研究テーマ1) ベイジアンネットワークによるソフトウェア要求仕様の確率的リスク評価に関する研究、研究代表者 期間) 2017年4月～2019年3月 金額) 488万円 (研究テーマ2) プロジェクト管理に於けるパフォーマンス測定方法に関する調査研究、研究代表者 期間) 2012年4月～2015年3月 金額) 520万円 (研究テーマ3) エマージング感染症のための教育用プログラムの開発、分担者 2005年～2006年 金額) 320万円</p>

(論文) (論文)
A Study of Probabilistic risk Evaluation for System Development Project Based on Requirements Analysis and Bayesian estimation 単著 2019年5月 International Journal of BMFSA Vol. 24, No. 1, 2019 pp19-27
A Study of Project Cost Management Based on Requirements Analysis 共著

主な卒業論文のタイトル
<ol style="list-style-type: none"> 中古車販売価格の推移に関する分析 プロ野球選手の球団別の成績と年俸 好まれる弁当の特徴に関する分析 中古車を決定する要因に関する価格調査・分析 戸建てとマンションの販売価格を決定する要因に関する調査 学生マンション家賃決定する要因と回帰分析 コミュニケーション能力の測定方法について プロ野球選手の評価方法と年俸について 数量化1類と重回帰分析を用いた住宅販売価格の推定 中古車価格を決定する要因について 賃貸住宅の設備条件と賃料の関係に関する調査 スマートフォンアプリケーションゲームに関する調査 中古バイクにおける色と価格の関係 中古二輪車の価格決定に関わる要因分析 回帰分析とクロス分析を用いた若者の志向に関する分析 数量化1類分析を用いた中古車価格に関する分析 数量化1類を用いた中古車価格に関する分析

趣味・特技
趣味はジョギングで、家にいる時は、良く、家の周りをクルクル回っています。また、野球観戦も好きでホークスファンです。年に2回程度、ヤフードームに観戦に行きます。ユニフォームのレプリカも持っています。特技は特にありませんが、方向感覚は良いほうで、地図を見ながら運転するのが好きです。ナビゲーションはほとんど使いません。機械は自動ではなく、手動が好きです。

所属

所属学会
日本経営システム学会・関西支部幹事 バイオメディカル・ファジィ・システム学会

専門分野
情報処理 プロジェクトマネジメント リスクマネジメント

選考方法

担当科目
研究演習、研究演習、卒業研究、リスクマネジメント論、技術開発論、基礎数学、問題解決ツール、環境問題の多面性、品質管理論、オペレーションズリサーチ、経営学科へのいきない

備考
三菱重工業(株)勤務を経て、2005年(平成17年)4月より大学の教員をしています。社員の時には新製品開発にも携わっておりましたので製品企画、資金調達、開発、製造、販売に関する一連の業務を経験しています。今後、このような業務経験を生かして、企業経営と技術開発に関する具体的な問題を皆さんと一

評価方法
(1)出席はRESPON又は復習テストや課題の提出で判断します。 (2)レポートの提出状況とゼミ中の態度、発言状況を考慮して評価します。 (3)出席が必須であり、出席の悪い学生や態度の悪い学生はゼミをやめてもらうこともあります。

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」 プロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、経営戦略策定に向けたデータ分析のポイントを解説します。